



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 ホクシン株式会社
 コード番号 7897 URL <http://www.hokushinmdf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 入野 哲朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 池本 輝男

TEL 072-438-0141

四半期報告書提出予定日 2020年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,444	18.1	37		4		8	
2020年3月期第2四半期	5,424	0.8	135	11.5	148	9.7	88	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	0.30	
2020年3月期第2四半期	3.11	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,658	5,007	39.6
2020年3月期	12,376	5,052	40.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,007百万円 2020年3月期 5,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		2.00	2.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	17.5	40		20	91.9	10	93.5	0.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	28,373,005 株	2020年3月期	28,373,005 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	20,413 株	2020年3月期	20,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	28,352,592 株	2020年3月期2Q	28,352,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、インバウンド需要の減少や世界経済の下振れを背景に、緊急事態宣言解除後の6月からは外出自粛緩和などにより景気を持ち直しに向けた動きはみられるものの、国内の消費マインドは依然として低く、大幅な落ち込みとなりました。

当社と関係の深い住宅業界も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、住宅取得に伴う政府の補助金や減税などの優遇制度延長及び住宅ローン低金利といった背景はあるものの、住宅関連各社の営業活動自粛や消費マインドの冷え込みにより住宅市場を取り巻く環境は悪化しました。新設住宅着工戸数は持ち家を中心に減少し、4月から8月の累計で、前年比11.6%減少となりました。

当第2四半期累計期間の当社業績につきましては、生産面において原油価格の下落によるエネルギー単価の低下及び、需給の緩みによる原材料単価の低下に加え、4月より導入した木質チップ異物除去装置の本格稼働により、原材料費や製造経費は抑制されましたが、新設住宅着工戸数が減少した影響を受け、主力である建材用途製品及びフロア一基材用途製品の販売量が減少し、また家具用途主体の輸入商品も市況悪化に伴い販売量が減少となり、売上・利益ともに昨年水準を下回るものとなりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は44億44百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は37百万円（前年同期は営業利益1億35百万円）、経常損失は4百万円（前年同期は経常利益1億48百万円）、四半期純損失は8百万円（前年同期は88百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前事業年度末に比べて17百万円増加し、62億83百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少と現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて2億65百万円増加し、63億74百万円となりました。これは主に有形固定資産と投資有価証券の増加によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて2億82百万円増加し、126億58百万円となりました。

②負債

流動負債は、前事業年度末に比べて4億67百万円減少し、42億57百万円となりました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金の増加と支払手形及び買掛金、短期借入金の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて7億94百万円増加し、33億93百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて3億26百万円増加し、76億50百万円となりました。

③純資産

純資産は、前事業年度末に比べて44百万円減少し、50億7百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加と配当金支払による利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ2億89百万円増加し、20億3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、36百万円（前年同期は1億25百万円の収入）となりました。主な増加要因は、減価償却費及び売上債権の減少によるものです。主な減少要因は、仕入債務の減少と割引手形の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、2億35百万円（前年同期は1億9百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は、4億88百万円（前年同期は15百万円の支出）となりました。主な増加要因は、長期借入金の純増額によるものです。主な減少要因は短期借入金の純減額によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が及ぼす新設住宅着工戸数への影響は依然不透明であり、個人消費や所得環境の悪化により新設住宅着工戸数は前年を下回るものと予測されます。一方、世界景気減速による原油価格下落から、原材料費、エネルギー費が抑えられ製造原価の上昇は一定程度抑えられると予測されます。このような状況の中、建材製品向けの販売量確保とフローア基材用途向け製品の拡販に加え、構造用製品の販売に注力し、一層の効率的な生産及び品質改善を推し進め、引き続き数量、価格ともに安定して市場に供給できるよう努めてまいります。

2021年3月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、当第2四半期累計期間の実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、本日2020年10月30日付けで通期の業績予想を公表しております。

詳細につきましては、「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,512	2,003,702
受取手形及び売掛金	1,838,785	1,658,880
電子記録債権	516,805	544,113
商品及び製品	1,059,561	1,000,713
仕掛品	253,106	289,716
原材料及び貯蔵品	834,288	725,689
その他	49,835	61,108
流動資産合計	6,266,895	6,283,924
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	1,521,768	1,880,763
土地	3,194,589	3,194,589
その他（純額）	794,783	652,555
有形固定資産合計	5,511,141	5,727,909
無形固定資産	19,349	16,969
投資その他の資産		
投資有価証券	570,922	622,807
その他	8,010	7,254
投資その他の資産合計	578,932	630,062
固定資産合計	6,109,423	6,374,941
資産合計	12,376,318	12,658,865

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,981,652	1,655,318
短期借入金	945,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,275,000	1,481,640
未払法人税等	—	12,800
賞与引当金	95,200	95,600
環境対策引当金	13,145	13,150
その他	415,054	498,921
流動負債合計	4,725,051	4,257,430
固定負債		
長期借入金	2,435,000	3,218,360
繰延税金負債	77,648	95,701
退職給付引当金	42,283	52,059
環境対策引当金	—	47
資産除去債務	12,239	12,164
その他	31,858	15,134
固定負債合計	2,599,030	3,393,468
負債合計	7,324,082	7,650,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343,871	2,343,871
利益剰余金	2,695,109	2,629,769
自己株式	△3,563	△3,563
株主資本合計	5,035,417	4,970,077
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,189	38,363
繰延ヘッジ損益	14,629	△474
評価・換算差額等合計	16,819	37,889
純資産合計	5,052,236	5,007,967
負債純資産合計	12,376,318	12,658,865

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,424,069	4,444,792
売上原価	4,657,971	3,922,031
売上総利益	766,098	522,761
販売費及び一般管理費	630,652	560,086
営業利益又は営業損失(△)	135,445	△37,325
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,035	7,763
業務受託料	9,900	9,900
助成金収入	—	28,190
その他	4,574	5,529
営業外収益合計	27,510	51,382
営業外費用		
支払利息	10,002	10,172
売上割引	2,683	2,387
固定資産除却損	—	5,450
その他	1,995	550
営業外費用合計	14,681	18,561
経常利益又は経常損失(△)	148,274	△4,503
特別利益		
受取保険金	—	7,465
特別利益合計	—	7,465
特別損失		
固定資産除却損	3,265	—
災害による損失	4,529	—
社葬費用	11,574	—
特別損失合計	19,369	—
税引前四半期純利益	128,905	2,961
法人税等	40,827	11,596
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,077	△8,634

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	128,905	2,961
減価償却費	131,140	157,130
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△50,476	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,936	9,776
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,700	△4,400
受取利息及び受取配当金	△13,035	△7,763
支払利息	10,002	10,172
助成金収入	—	△28,190
受取保険金	—	△7,465
災害による損失	4,529	—
社葬費用	11,574	—
固定資産除却損	3,265	5,450
売上債権の増減額 (△は増加)	752,391	387,163
たな卸資産の増減額 (△は増加)	68,483	130,836
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,391	△45,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	△563,962	△326,333
割引手形の増減額 (△は減少)	△376,930	△234,567
その他	50,140	△14,230
小計	177,782	34,637
利息及び配当金の受取額	13,035	7,763
利息の支払額	△10,912	△11,375
助成金の受取額	—	12,290
保険金の受取額	—	7,465
災害損失の支払額	△36,236	△25,773
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△18,215	11,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,453	36,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△100,436	△228,713
無形固定資産の取得による支出	△7,657	△2,000
固定資産撤去に伴う支出	△1,098	△5,024
貸付けによる支出	△800	—
貸付金の回収による収入	155	213
その他	198	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109,638	△235,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	△445,000
長期借入れによる収入	1,100,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△645,000	△710,000
配当金の支払額	△70,881	△56,705
その他	△13	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,895	488,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80	289,189
現金及び現金同等物の期首残高	1,655,023	1,714,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,654,942	2,003,702

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。